

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公表番号】特表2020-519673(P2020-519673A)

【公表日】令和2年7月2日(2020.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2020-026

【出願番号】特願2019-563219(P2019-563219)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/17	(2006.01)
C 0 7 K	14/00	(2006.01)
C 1 2 N	9/36	(2006.01)
C 0 7 K	14/47	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/02	(2006.01)
A 6 1 K	38/47	(2006.01)
A 6 1 K	38/16	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/19	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	38/17	
C 0 7 K	14/00	Z N A
C 1 2 N	9/36	
C 0 7 K	14/47	
A 6 1 K	47/12	
A 6 1 K	47/02	
A 6 1 K	38/47	
A 6 1 K	38/16	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 K	9/19	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 P	31/04	

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月30日(2021.4.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号6のペプチドとオレイン酸又はその塩とを含む生物活性複合体。

【請求項2】

前記ペプチドは配列番号7に記載のペプチドである、請求項1に記載の生物活性複合体

【請求項 3】

配列番号 6 のペプチド。

【請求項 4】

配列番号 7 のペプチドである、請求項 3 に記載のペプチド。

【請求項 5】

生物活性複合体を調製する方法であって、

粉末形態のポリペプチド要素と固体のオレイン酸又はその医薬的に許容可能な塩との混合物を少なくとも 2 つの塩を含む水性溶媒に溶解することを含み、

第 1 の塩は塩化ナトリウム又は塩化カリウムであり、第 2 の塩はリン酸二ナトリウム又はリン酸一カリウムであり、

前記溶解は、50 以下の適温で行われる、方法。

【請求項 6】

前記水性溶媒は、リン酸一ナトリウム又はリン酸一カリウムである第 3 の塩をさらに含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記適温は、10 ~ 40 である、請求項 5 又は 6 に記載の方法。

【請求項 8】

外気温で行われる、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記溶解により得られた溶液を濾過することをさらに含む、請求項 5 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 10】

溶媒を除去し、固体の前記複合体を得ることをさらに含む、請求項 5 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

前記溶媒は凍結乾燥により除去される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

前記ポリペプチド要素は、膜を摂動する活性を有する ラクトアルブミン、リゾチーム若しくは他のタンパク質から選択される天然タンパク質、又はそれらの分子内結合が欠損したそれらの変異体若しくは断片である、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 13】

前記ポリペプチド要素は、50 アミノ酸以下のペプチド断片である、請求項 12 の方法。

【請求項 14】

前記ペプチド断片は、請求項 12 で定義された天然タンパク質又はそれらの変異体のヘリックスドメインを含む、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記ペプチドは、配列番号 1、2、5 又は 6 のペプチドである、請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

前記ペプチドは、配列番号 7 のペプチドである、請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

前記ポリペプチドは、ラクトアルブミンである、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 18】

前記ポリペプチドは、ウシ ラクトアルブミンである、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記第 1 の塩は、塩化ナトリウムである、請求項 5 ~ 18 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 20】

前記第 2 の塩は、リン酸二ナトリウムである、請求項 5 ~ 19 のいずれか 1 項に記載の

方法。

【請求項 2 1】

前記第3の塩は、リン酸一カリウムである、請求項6に記載の方法。

【請求項 2 2】

前記複合体は、使用直前に無菌水を用いて再構成される請求項1 0又は1 1に記載の方法。

【請求項 2 3】

請求項5～2 2のいずれか1項に記載の方法により得られる生物活性複合体。

【請求項 2 4】

請求項2 3に記載の生物活性複合体を含む医薬組成物。

【請求項 2 5】

請求項2 3に記載の生物活性複合体を含む機能性食品組成物。

【請求項 2 6】

請求項2 3に記載の生物活性複合体又は請求項2 4若しくは2 5に記載の組成物の有効量を、それらを必要とする患者に投与することを含む、癌又はウイルス感染を治療又は予防する方法。